

## 平成 30 年度第 2 回恵庭創生懇談会議事録（要旨）

日時	平成 30 年 1 月 12 日（月）10：00～
場所	第 2・3 委員会室
出席者	小磯 修二（一般社団法人地域研究工房代表理事） 橋内 勇（学校法人鶴岡学園北海道文教大学副学長） 切明 毅（学校法人産業技術学園事務局長） 林 和則（北洋銀行恵庭中央支店長） 尾田 聡（北海道銀行恵庭支店長） 大溝 宏（連合北海道恵庭地区連合会長） 山谷 秀治（千歳公共職業安定所（ハローワーク所長）） 安保 貴弘（恵庭商工会議所青年部（宏和建设）） 尾野 教仁（千歳民報社代表）
議題	（1）平成 30 年度地方創生推進交付金実施状況について （2）ガーデンデザインプロジェクトの進捗状況について （3）現在取り組んでいる官民連携事業について ①市営住宅柏陽・恵央団地建替事業について ②ふるさと公園パーク P F I について ③保育園の民営化にむけて

発言者	内容
司会	【次第 1. 開催あいさつ】 開会のあいさつ。
市長	【次第 2. 市長あいさつ】 お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。創生懇談会は 4 年目でございますが、策定させていただいた総合戦略に基づいた施策を展開しているところです。 特にガーデンデザインプロジェクトについては、すでに住宅部分がオープンしており、半月ほどで 55 区画のうち 60%の契約が済んでいる状況で、大変嬉しく思っております。南側の花の拠点については来年度から公園整備の工事が着工することが決まっております。道の駅に関しても事業者を決定しましたので、「かのな」も出来るだけ来年度中に着工できるように計画を進めております。 4 月に保健センターと公共施設の機能を併せた「えにあす」がオープンし

	<p>てから大変多くの入場者数を記録しておりまして、このガーデンデザインプロジェクトは着々と進んでいると感じているところです。</p> <p>また、工業団地につきましても今月末に認可されまして来年度から事業が開始予定となっております、大変順調に進めさせていただいております。</p> <p>10月末現在の人口ですが、69,834人と1年間で290人ほど増加しています、これまでの総合戦略に基づく事業の成果として、「暮らすなら恵庭、住むなら恵庭」と考えてくださる方が増え、実際に移り住んでいただいているのではないかと考えております。</p> <p>恵庭市では地方創生という大きなプロジェクトが進んでいると考えておりますが、皆さま方から様々なご意見をいただき、さらに加速させていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>※石狩振興局の渡邊様、サッポロビール㈱の増渕様、社会保険労務士の佐藤様の欠席を伝える。</p>
座長	<p>以下、座長による進行。</p> <p>先ほど、市長からご紹介があったガーデンデザインプロジェクト、恵庭市が現在取り組んでいる事業について、それぞれご紹介いただきながら皆さまのご意見をうかがいたいと思っております。</p>
事務局	<p><b>【次第3．議事】</b></p> <p>(1) 平成30年度地方創生推進交付金実施状況について</p>
座長	<p>シティセールス検討委員会は今年度からの事業ですが、どのような方がいらっしゃるのでしょうか。</p>
事務局	<p>資料のとおり、大学や広告、旅行関連の専門的な方にお集まりいただき、検討を行っております。誰をターゲットにどのようなことを提案していくか等、様々なご意見をいただいております。</p>
座長	<p>昨年の職員からの提案事業ですから、職員のアイデアを取り込みながら検討を進めていけるといいですね。</p>
市長	<p>職員の提案をベースに議論していただいています。恵庭市の知名度を上げ、ブランド力を上げたいということで、どのようにアピールするのがいいのか検討していただいています。</p>
座長	<p>インバウンド向けの観光戦略の議論とも共通することですが、SNSを含め、従来とは違う手法で発信することになると、SNSに慣れ親しんだ若い世代の方々の声を汲み取って検討することが必要になってきていますね。</p> <p>交付金の事業についてはいかがでしょうか。</p>
A委員	<p>恵庭市の知名度のお話がありましたが、全国的に北海道の人気は高く、その中でも恵庭、千歳は人口が増加していることを強くアピールするのいいと思います。恵庭市のホームページを見ると市の変遷があまり詳しく掲載され</p>

	ていないようなので、充実させると恵庭市に就職する方や保護者の方の参考になると思います。
座長	今、政府が地方創生推進交付金を見直すということで、限度額を上げることや用途の拡大などを来年に向けて検討しているようですが、ご意見をお聞かせいただければと思います。
市長	行政と民間が連携して地方創生に取り組み、民間主導で建物を建てる時にしっかりと助成していただけるよう、柔軟になるとありがたいと思います。
座長	重要なお意見ですね。沖縄の事例ですが、地方自治体の裁量で自由に使える一括交付金があり、用途の事後チェックは厳しくなりますが、このような制度にしていくべきだと思います。今、市長からお聞きしたご意見も伝えていきながら、新しい制度に向けた議論を進めていきたいと思っています。
事務局	<b>【次第3. 議事】</b> (2) ガーデンデザインプロジェクトの進捗状況について
市長	センターハウスの公募を行いました。企業からの応募が無かったので調整し、再度公募を行います。今は何もありませんが、公園やホテルの計画が見えてくると企業の方も何か事業をしたいと考えていただけるのではないかと考えております。
座長	宿泊施設の事業者が決定したことは、かなり前向きな動きですね。
市長	宿泊施設の事業者に決定した積水ハウスさんは、パークPFI制度を利用して全国で道の駅に宿泊施設を展開しようとしていると日経新聞に掲載されていました。
座長	新聞記事を読んで、道の駅は地域の発展可能性のある不動産として企業から見られているのと感じました。 管理運営主体とは、どのようなものですか。
市長	これまでも市内の花の団体の方々に花畑を整備していただいていたという経緯がありますので、完全に民間に委ねるのではなく、市や観光協会、商工会議所などが出資して管理運営会社を設立しようと考えています。
座長	市の管理の度合いについてはどのように考えていますか。
市長	当初、直接出資はしないと考えていましたが、出資を呼びかけた団体から管理運営会社に対する市の関与を明確にしてほしいという要望があったことから出資することにしました。どのような会社運営になるかわかりませんが、公園の指定管理料を市が支払うことから人的にも市の関与が必要ではないかと考えております。
座長	ガーデンデザインプロジェクトは重要な拠点なので、市の全体の施策との整合性を担保するためにも一定の関与は必要だと思います。問題は割合

	で、市の関与の割合が高すぎると民間の力を有効活用できないため、サブであった方がいいですね。
市長	立ち上げのときはこのような形になりますが、今後、事業やイベントを主催することになりますので、民間の知恵を借りることが多くなると思います。
座長	民と官の協働のマネジメントシステムですね。様々な経験を踏まえて構築していただければと思います。 他に、ご意見ご質問はございますか。
B 委員	道の駅は非常に人気があり、ガーデンデザインプロジェクトが進むとさらに来場者が増えると思いますが、駐車場の状況はいかがでしょうか。
事務局	現在、道の駅の駐車場は普通車で 200 台程度収容できることになっていますが、公園の北側なども駐車場として整備し、合計で約 500 台分ご用意します。
市長	かわまちづくりという事業がありますが、国と市が連携して川のそばで親しめる公園を作っています。
事務局	恵庭市は 31 年から 32 年で工事を行います。国の工事は 35 年くらいまで行くと聞いています。
座長	「かのな」についてはいかがですか。
市長	道の駅の並びに移転しまして、既存の建物はどのように活用するか検討します。
座長	ご質問などございますか。 なければ、次の説明をお願いします。
事務局	<b>【次第 3. 議事】</b> (3) 現在取り組んでいる官民連携事業について
市長	資料 3 について補足いたします。ここは柏陽地区という、戸建ての市営住宅が団地を形成している地区です。この地区の市営住宅を高層化し、点在している公共施設を集約、複合化することで出る余剰地を宅地として販売することなどができないか検討しております。民間事業の可能性についてもサウンディング調査を実施し、ご意見をうかがいながら基本計画を策定しているところでございます。私どもとしては、単に市営住宅の建替えではなく、この地区のコミュニティをどのように作っていくかという「まちづくり」の観点で考えていきたいと思っております。 ふるさと公園については、恵庭駅前の公園をパーク P F I を使って、もっと開かれた公園に整備するというものです。 保育園については、もともと恵庭市に 5 園あった公立の保育園を随時民営化し、残っているのは 2 園です。この 2 園のうちの 1 園を民営化するという

	<p>ことですが、これまでと違うことは民設民営を検討していることです。</p> <p>いずれも民間の皆さまのご意見をうかがい、民間活力を活用しながら取り組んでいる事業を3つほどご説明いたしました。</p>
座長	<p>幅広い民営化の取組みを進めているということですね。資料を見ると柏陽団地はサウンディングの結果、企業から前向きな意向が示されているようですが、どのような状況ですか。</p>
事務局	<p>様々な企業の方に興味を持っていただいております、非常に事業性があるかと思えます。ただ、景気動向や戸建て住宅の需要がわからないといったご意見をいただいています。</p>
座長	<p>投資対象としての関心が高いということですね。</p>
市長	<p>余剰地を宅地として分譲すると、どのくらいの区画になりますか。</p>
事務局	<p>1区画の坪数にもよりますが4.6ヘクタールなので、130程度になると思います。恵み野駅から徒歩で10分圏内なので、住宅地としてはいいと思います。</p>
座長	<p>市営住宅なので、現在入居しておられる方の問題がありますね。</p>
市長	<p>丁寧に対応しなければならぬと感じています。</p>
座長	<p>住人に対する調整を行政と民間での分担はどのように考えていますか。</p>
市長	<p>全国の例を見ても民間に委ねているところは無いようで、市で対応することとしています。</p>
座長	<p>スムーズに事業を進めるためにも、行政で対応する姿勢を示していくことも大切かもしれませんね。</p> <p>全国的にパークPFIの事例は出てきているのでしょうか。</p>
事務局	<p>制度が平成29年にできたばかりで事例が出てくるのはこれからになると思います。道と川の駅も、もともと公園緑地に道の駅を建てましたが、さらに制度が拡大してレストランや保育園が作られるようになりました。ガーデンデザインプロジェクトの宿泊施設もパークPFI制度が活用されています。</p>
座長	<p>民間の力で公共空間を活性化していこうという流れがありますね。民間との接触はこれからの予定ですか。</p>
事務局	<p>ふるさと公園は、国の制度に従って先般民間企業とのサウンディング調査をしているところです。</p>
事務局	<p>道と川の駅の宿泊施設はパークPFI制度を活用した事例です。公園の施設整備を条件として宿泊施設を建設することで進めています。</p>
市長	<p>ふるさと公園は恵庭駅から文教大学までの道沿いにあり、多くの学生が通行します。ですが、立ち寄れる施設も少ないため、民間企業に物販やイベントなどで賑わいを作っていただき、あわせて公園の管理運営もしていただけ</p>

	<p>たらと考えております。</p>
座長	<p>周辺の空間とあわせて価値を高めていこうという工夫が「まちづくり」の視点で、重要な取組みになると思います。</p> <p>恵庭市の事例ではありませんが、道路を民間の力で活性化しようと道路協力者制度が作られまして、札幌市では狸小路を商店街と協力して魅力ある空間にしようと取り組んでいます。国の制度は全て縦割りなので横断的に調整するのは自治体の重要な役割で、国の動きをうまく形にしていけることができれば素晴らしいものになると思います。</p>
市長	<p>これまでは公園を使用するときは届出をして許可が必要でしたが、もっと自由にできたらいいのではと思います。</p>
座長	<p>今の時代は共有経済、シェアリングエコノミーという流れになっていて、国の政策もどのように共有し、使用していくかという方向に向かっていますが象徴的なお話だと思います。</p> <p>ご意見、ご質問はございますか。</p>
C 委員	<p>公立保育園の民営化についてですが、先行して民営化した保育園はどのような状況でしょうか。今、保育士の確保が難しいという問題がありますが、いかがですか。</p>
市長	<p>最初に平成 16 年にさくら保育園を民営化しました。保護者の方や職員に対し、説明会を行いながら民営化を進め、23 年に島松、26 年にこすもすと進めて参りました。保護者の方の関心事は民営、公立ということではなく、きちんとした保育を行っているかどうかなので心配はないと思います。市としては現状のまま、保育士を雇用し続けることが難しくなっていますが、民営化することで、この問題が解決すると考えています。ただ、障がいをお持ちのお子さんの保育を担う施設も必要なことから、公立保育園を 1 園残すこととしております。</p>
座長	<p>他にご意見、ご質問はございますか。</p>
A 委員	<p>ふるさと公園についてですが、夏は多様な利用方法があると思いますが、冬期間の活用については何か検討されていますか。</p>
事務局	<p>去年はキャンドルナイトというイベントの翌日に地域の方々がふるさと公園でお祭りをしていました。黄金地区の雪祭りのようなもので、冬期間でも地域の方々に利用していただけていると考えています。</p>
市長	<p>ふるさと公園を整備したあとに黄金地区の開発が進み、駅前通りに面した側がうっそうとした林になっています。そこを再整備し、学生や地域の方に親しんでいただける公園にしたいと検討会を行っているところです。冬期間はプレーパークと言って、地域の子どもたちを集めて自由に遊んでもらう活動も行われています。</p>

座長	<p>民間の知恵を活用してよりよい空間になる可能性のある場所ですね。ぜひよい先進事例にしてください。</p> <p>民間のパートナー事業者を探す際の発信は官民連携においてとても重要で、パーク P F I 制度は始まったばかりの制度なので丁寧にアプローチしていくといいと思います。官民連携はなかなかうまくいかなかった経緯があり、民間事業者は躊躇する部分がありますので、行政はこんなに変わったところを発信していくことが大事だと思います。</p> <p>次第に沿った議事は終わりましたが、全体についてのご意見やご要望、ご質問はございますでしょうか。</p>
D 委員	<p>移住促進事業についてですが、資料に東京で移住相談会を行って 42 組が来場したとありますが、後日 42 組の方に対してフォローしているのか気になりました。恵庭市に興味を持っている方々の年齢層が把握できるので、とてもいい商材だと思います。</p>
事務局	<p>相談会は中央の優良田園住宅を売り出したときに初めて行いました。当初は 50 代、60 代の方が多いいことを想定していましたが、30 代、40 代の若い方が多く、戸建て住宅ではなく賃貸住宅の方が需要があることがわかりました。恵庭市では相談会にアルバイト情報社や賃貸住宅の資料を持ち込んでいます。相談会に来る方は調べてきているので、札幌と千歳の中心ということで恵庭は来場者が多くなります。恵庭市まで来ていただいた方には個別にジャンボタクシーを利用してオーダーメイドツアーを行い、要望に合わせて恵庭のまちを案内しています。直接見に行らっしゃる方は移住先の候補を絞っていますので移住する確率が高くなっています。一度相談に来ていただいた方には相談会のご案内を送付するなどのフォローをしています。</p> <p>昨年までの実績として 5 年間で約 400 組の相談を受けていますが、把握できているだけでも 20 組以上、5 パーセント以上の方々が移住してくださっています。確実に成果は出ていると考えています。</p>
事務局	<p>平成 30 年度はオーダーメイドツアーを 12 件行い、そのうち 2 組が移住しています。移住して来た方々の交流会を開催し、子育てのことや買い物のことなど情報交換していただいて、より恵庭に親しんでいただけるような仕組みづくりをしています。</p>
市長	<p>3 年ほど交流会を開催しておりますが、毎回参加されている方が違うので、移住して 2 年 3 年と時間が経つと地域に親しんでくださっていると考えています。</p>
D 委員	<p>道外から恵庭に移住していただけると、市内の企業で働いてくれる可能性が高いのかと思います。恵庭市に住んで恵庭市で働くという状況が一番いいと思うので、道内よりも本州からの移住がプラスになるという気がしまし</p>

	た。
市長	ネット環境があればどこでも仕事ができる時代なので、恵庭市にいても東京の会社で働けるということですね。
座長	仕事の形態はこれからどんどん変わっていくでしょうね。知人が北海道に移住しましたが、ネット環境さえあれば活動が出来るようです。知人は移住の相談で窓口の方が熱心に対応することが非常に大切だと言っていました。
市長	それは自信があります。
座長	私が関わっている自治体では賃貸住宅がないため、移住者のニーズと合わず難しいようです。移住政策で最初から戸建て住宅を買ってもらうのは難しいので、賃貸で住んでもらう仕組みが大事かと思います。恵庭市は賃貸住宅もありますから問題はないですね。
市長	若い方々には家を買ってというのは難しいですが、移住して賃貸住宅に住んでいる方もいらっしゃいます。
座長	他にはいかがでしょうか。
C 委員	先日の地震があったあとに恵庭・千歳の被害状況の問合せの電話がありましたが、幸い大きな被害はなかったので、安全なまちとPRできるのではないかと思います。
市長	恵庭市は畑だった土地を造成したところが多いので、液状化の心配はないと思います。地震の致命的な被害はなかったようです。
E 委員	安平に地震のあとすぐに行きましたが、相当被害が大きかったようです。
市長	恵庭市内は地震よりも台風の方が被害が大きかったようです。
座長	北海道はこれまで災害が少ないことを売りにしてきましたが、災害はどこにでも起こりえることなので、環境整備や対応を含めて災害時でも大丈夫だということを発信していくことが重要だと思います。災害時に余裕がある地域と大変な状況の地域では大きな差が出て、世界中に発信されるので災害が起こったときの対応が地域のブランド力、信頼度に繋がっていくと思います。 他にご意見はございますか。
F 委員	国の補助金を受けて作られた建物がありますが、補助金を受けたために改築できないことがあるようで、そのような縛りがなくなると地方創生に貢献できると思います。座長から恵庭市に何かアドバイスをいただけますか。
座長	重要で非常に難しいご指摘ですね。本来の目的と異なる用途だと補助金を返還しなければいけないことになっていますが、幅広い目的で使っていこうという流れがあります。行政が本当に必要な使い方をすることを認めてほしいと声をあげていくことが大切だと思います。
市長	以前と比べると柔軟になってきたように思います。施設を耐用年数の間ず

	<p>っと同じ用途で利用し続けるということは難しいので、効率化、複合化を検討しなければなりません。柔軟に対応していただいていると思います。</p>
座長	<p>ますます今あるものを有効に使っていくという発想で声をあげていくことが大切だと思います。</p> <p>他にご意見がないようでしたら、以上ということで事務局にお返しします。</p>
司会	<p>ありがとうございます。それでは事務局から次回の予定についてご案内いたします。</p>
事務局	<p>次回は年が明けてから開催いたしますので、またご連絡させていただきます。ご多用のこととは存じますが、ご出席賜りますようお願いいたします。</p>
司会	<p>以上で終了いたします。皆さま、ご多用のところありがとうございました。</p>
市長	<p>どうもありがとうございました。</p>